

熊本県下益城郡小川町方言の否定の表現

一森 綾子

I. はじめに

- (1) 調査対象地：熊本県下益城郡小川町は、熊本県のほぼ中央部に位置している。町の東部は山で、西に平野が開け、さらに干拓地は不知火海につながる恵まれた風土である。3月末現在の世帯数は3,769戸、人口は14,024人で熊本県では平均的な規模の町である。主たる産業は農業で、い草・水稲・そ菜・花栽培等が盛んである。交通網は国道3号線・JR鹿児島本線が通っており、熊本市からは30Km程南へ下った所で比較的便利な地域である。古くは13世紀中頃の蒙古襲来絵詞で知られる竹崎季長や、18世紀、一切教を開いた鉄眼禅師、更に、長崎で海外貿易を進展させる根拠を作ったと言われている天野屋太郎左衛門もこの町ゆかりの人物である。藩制時代は河江手永の会所も置かれ、物資の集散地として非常に栄えた町である。現在は活気は少々乏しいが、落ち着いた古い歴史の町と言える。
- (2) 調査年月日：1995年1月27日 午後6時～10時10分
- (3) 教示者：松本吉郎氏 1914年9月13日生（80歳）
教示者は、当地で生まれ、長年、地元小学校の教職にあり、言語分析能力を非常に持ち合わせた方である。
- (4) 調査者・調査場所：一森綾子、教示者宅の居間
- (5) 調査方法：統一調査票による質問調査に加えて、調査者の使用語形なども参考に示し、同席された不知火町出身で50数年小川町で御主人と共に暮らしてこられたトシ子夫人（74歳）にも意見を求め、より正確な小川町の否定表現の総合的な把握が出来るように努めた。本調査の前にも3回ほど教示者宅を訪ね、打ち解けた雰囲気ですムーズに正確な否定表現の聞き取り調査が出来るように配慮した。
また、小川町から通学している松橋高校の生徒数名からも現在の小川の若年層の使用語形を聞き取り、併せてこのレポートに報告する。
- (6) 表記方法：
 - ①アクセントは無いものもあるが、分かるものは、語形上部に棒線を引き示す。
 - ②記述は教示者の回答の順に従ったが、必ずしも回答の順にその語形がよく使われるということではない。
 - ③教示者の説明は（ ）で示す。調査者の解釈は〈 〉で示す。
 - ④当該部分のみのバリエーションは{①～②～}で示す。
 - ⑤〈老・中・青・少－使用者層〉, 〈頻・希－使用頻度〉〈古・新－言葉の新古関係〉, 〈高・低－敬意、品位の高低〉など、分かる範囲内で記述する。

II. 調査結果

(I). 動作・作用の否定表現

1. 雨が降りそうだから、今日はどこへも行かない ○アメン フルゴタルケン キョーワ {①ドコンモ イカン (老・中・青・少・頻) / ②ドケーモ イカンバイ (老・中・頻) / ③ドコーモ イカンバナ (老・女・希) / ④ドケモ イカンゾイ (老・中・希・下) / ⑤ドコーモ イカンヨ (青・少・女・頻)}

* (②③は主に年寄りが使う。)との教示者の説明があった。

* (②③の「～バイ」・「～バナ」は念を押す気持ちを添える終助詞。「～バナ」は「～バイ」より丁寧。「～バナ」は老年層の語で主に女性が使う。)

2. 今日は、雨は降らないよ ○キョーワ アメワ {①フランバン (老・中・頻・古) / ②フランバイ (老・中・青・頻) / ③フランゾ (老・中・青・男) / ④フランヨ (中・青・少・女・頻)}

* ①の「～バン」は、②の「～バイ」のくだけた形。親しい間柄で使われ、敬意はやや低い。「ゲーン ソガンジャナクバン (いいえ、そうではないんだよ。)」のように小川町とその周辺地域の独特な言葉「ゲーン」と同様、年配の方の会話ではよく聞かれる。「～バン」の使用は小川町から八代郡市を経て芦北郡までつながる広い分布を持つようである。

* (③は荒い言葉で、主に男性が下位者に使う言葉。)との教示者の説明があった。

3. 今日はどこへも行きません ○キョーワ ドケーモ {①イキマッセン (老・中・青・頻・高) / ②イカンドスパイ (老・中・青・頻) / ③イカンバイタ (老・中・青・頻) / ④イカンバナ (老・女・古・希) / ⑤イカンバイ (中・青・低)}

* (①②③④⑤の順に敬意は低くなる。)

4. 今日はどこへも行きはしない ①キョーワ ドケモ イキャセン (老・中・青)

5. 先生は、今日、どこへもいらっしやらない ①センセイヤ キュワ ドケモ イキナハラン (老・中・青・少・頻) / ②センセイワ キョーワ ドコモ オイデナハラン (老・中・青・頻・高) / ③センセヤ キョーワ ドコモ オイデン (老・中・希) / ④センセヤ キョーワ ドークモ イカッサン (老・中・頻・低) / ⑤センセヤ キョーワ ドコニモ オイデマッセン (老・中・青・頻・高)

* (④は一番敬意が低い。⑤は一番丁寧な言い方である。)

6. 今日はどこへも行かなかった ①キョーワ ドケーモ イカンドタッタ (老・中・青・少・頻) / ②キュワ ドークモ イカンドタッタ (老・中)

7. 今日はどこへも行きはしなかった ①キョーワ ドケモ イキャセンダッタ (老・中・青・頻)

8. 雨が降りそうだから、今日はどこへも行くまい ○アメン フルゴタルケン キョーワ ドケーモ {①イクマイ (老・中・青) / ②イクミャー (老・中・青・希) / ③イキミャー (老・中・青・頻・) / ④イカンドコ / ⑤イカンドク (中・若)}

* (②はたまに使う。)との教示者の説明があった。④⑤は高校生の報告である。

9. 雨が降りそうだから、今日はどこへも出まい ○ア^メンフル ゴタルケン キョーワ ド^ケーモ {①デルマイ(老・中・青・頻) / ②デルミヤ(老・希) / ③デミヤ(老・中・青・希) / ④デラ^ンドコ(青・少・頻) / ⑤デラ^ンドク(中・青・少・頻)}

* (②③はたまに使う。)との教示者の説明があった。④より⑤の方が強い調子。「デラ^ンドコ」は「出ないでおこう」、「デラ^ンドク」は「出ないでおく」の略語。

10. 今日は何もすまい ○キョーワ ア^メンフルケン ナンモ {①シマイ(中・青・少) / ②スルマイ(老・中・青) / ③シミヤ(老・中・希) / ④セ^ンバイ(老・中・青・男・少・頻) / ⑤セ^ンドコ(少・頻) ⑥セ^ンドク(中・青・少・頻)}

* (①②③④の順に品位は低くなる。) ⑤⑥は高校生の回答を含むものである。

11. 今日は多分雨は降らないだろう ○キョーワ タブン アメワ {①フルマイ(老・中・希) / ②フラ^ンド(老・中・青・少・低) / ③フラ^ントダ^ロー(青・少・) / ④フラン^バイ(老・中・青・頻) / ⑤フラ^ント^{ジャ}ー(少・頻)}

* (③④は若い人が使う言葉。確信の度合は弱いようである。④は確信の度合が強い)

12. 明日はきっと雨が降るにちがいない ①アシタワ キット ア^メンフルバイ(老・中・青・頻) / ②アシタワ チ^ガワン アメ^バイ(老・男・希)

* (②は年寄りがこんな話し方をする。)との教示者の説明があった。

13. 今日は誰も来ない ①キューワ ダ^ルモ(ダ^ーモ) コン^バイ(老・中・希) / ②キョーワ ダ^レモ コン(老・中・青・少・頻) / ③キョーワ ダ^ーモ コン^トジャ^ー(少・頻)

* (①は年寄りの使う言葉。)「キュー」は九州方言にまだまだ残っている中世末期の古い発音。

* ③は高校生の言葉。語尾に「～ジャー」(～ではないか)と付けて使っている。

「行かんとジャー」、「良かっジャー」、「駄目とジャー」、「食わるととジャー」などのように、小川町の高校生に限らず他地域でも使っているようである。

14. 今日は誰も来はしない ①キョーワ ダ^ルモ キワ^セン(キヤ^セン)(老・中・青・頻) / ②キョーワ ダ^ルガ^クル^カイ(老・中・希)

* ②は反語的表現。「キョーワ ダ^ルガ^クル^カイ」と言えば単なる問いかけになる。

15. 今日は誰も来なかった ○キョーワ ダ^ルモ(ダ^ーモ) コン^ダッタ(老・中・青・少・頻)

16. 今日は誰も見ない(～見かけない) ①キョーワ ダ^ルモ ミ^ン(老・中・希) / ②キョーワ ダ^レモ ミ^ラン(中・青・少) / ③キョーワ ダ^レモ ミ^カケン(老・中・青)

* (①は年寄りの使う言葉。)

17. 今日は誰も居ない ①キョーワ ダ^ルモ(ダ^ーモ) オ^ラン(老・中・頻)

18. どこへも行かずにうちにいる ①キョーワ ドケーモ イカ^ーンデ ウチオル(老・中・青・少・頻) / ②イカ^ーンデニヤ(老・中・希) / ③キューワ ドークモ イカ^ーデン ウチオル(老・中・希・古) / ④キョーワ デナシ ウチオック(老・中・希)

19. わざわざ行かなくてもよい ①ワザワザ イカ^ンデモ ヨカ(青・少・頻) / ②ワザワザ イカ^ンジャ ヨカ(老・中・頻) / ③ワザワザ イカ^ンチャ ヨカ(中・青・少・頻)

20. わざわざ行かなければよかった ①ワザワザ イカ^ンバ ヨカッタ(中・青・少) / ②イカ^ニヤ ヨカッタ(老・頻) / ③ワザワザ イカ^ンバッカリシタ(老・中・頻) / ④ワザワザ イカ^ント ヨカッタ(青・少・頻) / ⑤ワザワザ イカ^ンナラ ヨカッタ(青・少・頻)

* (④⑤は若い人が使っている。)との教示者の説明があった。

21. どうしても行かねばならない ①ドーアッテン イカ^ニヤ ナラン(老・中・希) / ②ドガンシタッチャ イカ^ンバ ナラン(中・青・希) / ③ドガンシタッチャ イカ^ンバン(青・少・希)

22. どうしても行かねばならない ①ドギャンシタッチャ イカ^ニヤン(老・中・頻) / ②ドーシテン イカ^ンバン(青・頻) / ③ドーアッテ^ン イカ^ニヤナラン(老・中・青・頻) / ④ドギャンシタッチャ イカ^ニヤナルマイ(老・希) / ⑤イカ^ニジャコテ(老・中・希) / ⑥ドギャンシタッチャ イカ^ニヤントジャー(少・頻)

* (老年層では①の方が、若年層では⑥の方が小川地区では優勢のようである。)

*他にも、「センバン・セニヤン・セナン(しなくてはならない。)」 「クワンバン・クワンヤン・クワンナン(食べねばならない。)」 「カエランバン・カエラニヤン・カエラナン(帰らねばならない。)」などのように使われる。⑥のように「～ナン」となるのは高校生の会話である。

*⑤は他の人が同意を求めた時、「ソラー イカ^ニジャコテ」のように返答する。

「～コテ」は反語式強調表現。「行くのが当たり前だよ」という意味になる。

23. ～ズ(ヤ・ジャ・ダ) ①キョーワ ドコーモ イカ^ンデ ウチオックタイ(青・少・頻) / ②キューワ ドケーモ イカ^ンデン ウチオックパン(老・中・希)

* (①②以外の語形は無いようである。) 「今日は誰もこず」と言う場合は「キョーワ ダーモ コンデ(コンデン)」となる。

24. こちらから行きもせず、向こうから来もしない ①コッチカラ イキモセズ ムコーカラ キモセン(老・中・青・頻)

25. その人の家に、明日も行くか行かないかわからない ①イクカ イカ^ンカ ワカラン

* 「行くのか行かないのか分からない」は「イクトカ イカ^ントカ ワカラン」とな

り、「食べるのか食べないのか分からない」は「クートカ クワントカ ワカラン」

(II)、存在・状態・判断の否定表現

26. これだけしか無い ①スイカン ナエワ コギヤシコ シカ ナカ (老・中・青・少・頻) / ②コレシコ シカ ナカ (老・中・青・希) / ③コシコシカ ナクバン (老・頻) / ④コシコシカ ナカバイ (老・中・青・頻)
- *③の「～バン」、④の「～バイ」は「～だよ」と言う時に付ける告知の終助詞。「～バイ」が「～バン」となるのは小川町以南、八代郡市から芦北郡までつながる分布をもっている言葉のようである。秋山正次先生の「熊本県北部方言・南部方言・東部方言対照表」によると、状態の否定形ではないが、熊本県南部方言の「イカンバン」に対し北部・東部方言は「イカニヤン」、「イカニヤナラン」を挙げておられる。「～バン」は松橋辺りではあまり使わないので、松橋辺りの人はこれを使う八代弁を聞くと「八代弁は言葉があらい。」という印象を受けるらしい。
27. 今年のように暑い年は無いねえ ①コトシノゴテ ヌッカトシャ ナカネー (老・中・青・少・頻) / ②コトシノゴツ ヌッカトシャ ナクバン (老・中・男・希)
- * (②は年寄りの使う言葉) といった教示者からの説明があった。「～ゴテ」は、「～如くに」・「ように」という意味。
28. 今年のように暑い年は、ありはしない ①コトシノゴテ ヌッカトシャ アリャーセン (老・中・希) / ②コトシノゴツ ヌッカトシャ ニャーケン (青・少・希)
- * (②は若い男の人同志の会話に聞かれる言葉。)
29. 今年のように暑い年は無かったねえ ①コトシノゴテ ヌッカトシャ ナカッタネー (老・中・青・頻) / ②コトシノヨーニ ヌッカトシャ ナカッタケン (青・少・頻・低) / ③コトシノゴテ ヌッカトシャ ナカッター (少・頻・低)
- * (②③は若い人同士が使っている。) との教示者からの説明があった。「～ケン」は終助詞「～カラネ」
30. 今年のように暑い年はありはしなかった 〇コトシノゴテ ヌッカトシャ アリャセンダッタ (老・中・青・頻)
31. 今年のように暑い年は、もう無いだろう 〇コトシノゴテ ヌッカトシャ モーナカロー (老・中・青・頻)
32. 暑い夏なんか無ければいいのに ①ヌッカナツ ナンノテ ナカナラ ヨカツニ (老・中・青・頻) / ②ヌッカナツ ナンノテ ナカト ヨカツニ (老・中・青) / ③ヌッカナツ ナンノテワ ナカト ヨカバッテン (老・中・希) / ④ヌッカナツ ナンテロン ナカナラ ヨカバッテン (老・中・希) / ⑤アツカナツ ナンテナカナラ ヨカツニ (少・頻) / ⑥アツカナツ ナンテ ナカナラ ヨカチカラネ (少・希)
- *④は (年寄りの使う言葉) との教示者からの説明があった。

33. 今日はあまり暑くない ①キョーワ アンマリヤ アツナカ (中・青・少・頻)
 /②ヌクナカ (老・中・青・頻)
34. 今日はあまり暑くはない ①キョーワ アンマリヤ アツワナカ (老・中・青少)
 /②キョーワ ソギャンナ ヌクワナカ (老・中・希)
35. 今日は余り暑くなかった ①キョーワ アンマリ アツーナカッタ (中・青・少)
) /②キョーワ ソギャンナ ヌクナカッタ (老・中・青・頻)
36. 今日は余り暑くはなかった ①キョーワ アンマリヤ アツワナカッタ (老・中・
 青・少・頻) /②キョーワ ソギャンナ ヌクワナカッタ (老・中・青・頻)
37. 明日も暑くないだろう ①アシタモ ヌクナカロー (ヌクワナカロー) /②ヌク
 ナカバイ (ヌクワナカバイ) (老・中・青・希) /③アシタモ アツナカロー (ア
 ツワナカロー) (老・中・青・少・頻)
38. 今日はあまり涼しくないねえ ①キョーワ アンマリ スズシュナカネー (老・
 中・青・少・頻)
39. あまりにぎやかでない ①アンマリ ニギヤカデナカ /②アンマリ ニギヤワン
40. あんまりにぎやかではない ①アンマリヤ ニギヤカジャナカ (青・少・頻) /
 ②アンマリ ニギアヤセン (老・中・青・少・頻)
41. あまりにぎやかでなかった ①アンマリ ニギヤカジャナカッタ (老・中・青・
 少・頻) /②アンマリヤ ニギアイヨランダッタ (老・中・青・頻)
42. あまりにぎやかではなかった ①アンマリヤ ニギヤカジャナカッタ (老・中・
 青・少・頻) /②アンマリ ニギアイヨリヤセンダッタ (老・中・頻)
43. もう以前のようににぎやかではなからう ①モー ムカシノゴツ ニギアイヨリ
 ヤセンドー (老・中・青・頻) /②モー ショテンゴツ ニギアイヨリヤセンド (老・
 希) /③モー モトンゴツ ニギアワントジャナクドカ (老・中・希)
44. あれは花ではない ①アラ ハナジャナカ (老・中・青・少・頻) /②アラ ハ
 ナジャナクバン (老・中・希) /③ アラ ハナジャナカッジャー (少・頻)

*②は年寄りの使う言葉との教示者からの説明があった。③は高校生の言葉である。

(Ⅲ). 特定の慣用句による否定(不可・禁止)表現

45. (そんなことでは)いくらやってもだめだ (不可) ○ソギャンコッジャ ドシ
 コシタッチャ {①イカン /②ツマラン /③デケン /④ダメタイ /⑤ワカラン (ワカ
 ランゾ) /⑥アカラン (アカランゾ) (老・中・希) /⑦ダメトジャー (少・頻)}
- *⑤⑥は、前述の禁止句の中では、直接的でなく優しい語感を持つもので、小川町に
 限らず熊本県では子供を叱る時などによく使われる。
- *⑦は高校生の言葉で、「ダメトジャー (駄目なのではないか)」の「ト」は「行か
 んトジャー・せんトジャー・食べントジャー」の「ト」に倣ったものであろう。
46. あいつはだめなやつだ ①アヤツァ ツマラン ヤツタイ (老・中・青・頻) /

②アラ サバ^ケン ヤツダン〈老・中・希〉／③アラ ダメ^ダン〈老・中・青・少・頻〉／④オワットルケン〈少・希〉

*④は小川出身の高校生の言葉である。手の付けようのない人のことだそうだ。

47. つまらないことを言うな(不可) ①ツマラン コツバ ユーナ〈老・中・青・頻〉／②エシレン コツバ ユーナ〈老・中・希〉

48. 行ってはいけない(禁止) ①イッチャ イカン〈老・希〉／②イッチャ デケン〈老・中・青・少・頻〉／③イッチャ ナラン〈老・中・希〉／④イクト アカランバイ〈老・中・頻〉

49. そんな所へは行カレン(禁止)

*禁止の場合は「そんな所へはイカレン」と言う使い方はしない。

50. そんな所へは行くな(禁止) ①ソギャン トコレワ イクナ〈老・中・青・頻〉／②ソギャン トコレワ イクト デケン〈老・中・青・少・頻〉／③ソギャン トコンニャ イクナ〈中・青・希〉／④ソガン トコンニャ イクト ナラン〈老・中・希〉／⑤ソガン トコンニャ イクナヨネ〈少・頻〉

51. いたずらをするな(禁止) ①ワルサ ス^ナナ〈老・中・青・頻〉／②ワルサバ スルナ〈老・中・青・頻〉／③ワルサ センバイ〈老・希〉／④ワルサド^ン ス^ンナヨ〈老・中・希〉

*④は「いたずらなんぞするなよ。」と言う意味になる。

52. そんな所へ行くもんではない ①ソギャン トコレ イクモンジャナカバイ〈老・中・頻〉ソギャン ヘトツクレントコレ イクモンジャナクバン〈老・中・希〉

53. 暑くてたまらない ①ヌク^シテ タマラン／②ヌク^シテ オコナエン／③ヌク^シテ ノサン／④アツシテ デケン／⑤ヌク^シテ モテン／⑥ヌク^シテ マカセン

*②は(年寄りが使う言葉である。)という教示者の説明があった。

54. 雨がやむのを待っていてもしかたがない ①アメンヤムトバ マットツク^ツチャ ションナカ〈老・中・青・少・頻〉／②ショーガナカ／③ションナカ^ツジャー〈少・頻〉

55. 遠くまで歩くのは楽ではない ①エンポーマデ アユー^ジクトワ ノサン〈老・中・青〉／②エンポーマデ アユプトワ ヤオナカモン〈老・中・青・頻〉／③エンポーマジ アユプトワ タヒャンナク モン〈老・中・希〉

*③の「タヒャンナク」は「ゲーン」と共に小川町とその周辺地域の独特の言葉である。疲れてどうしようもないような時にこう言う。

56. 遠くまで歩きたくない ①エンポーマデ アルキト^ーナカ〈中・青・頻〉／②アルコゴツァナカ〈老・中・青・少・頻〉／③アユボゴツァナカ〈老・中・希〉

57. 心配しなくても大丈夫だ ①シンバイセンチャ ダイジョ^ーブ〈老・中・頻〉／②ナーモ セワ ナクバン〈老・中・希〉

*②は(年寄りの言葉)という教示者の説明があった。

(IV). 否定の応答表現

58. いや ① ンネ / ② インネ / ③ ンニャ / ④ ナーン / ⑤ イイヤ (老・中・青・高)

*⑤が(一番品位が高い)という教示者の説明があった。

59. いや(強い否定) ① イーヤ / ② ナーン / ③ ンネ / ④ イヤバイ (少・頻)

60. いいえ ① イーエ フリマッセンデシタ (老・中・高) / ② ゲーン アメワ フラングッタバン (老・中・頻・低) / ③ ゲーンバン (老・中・希)

*②③の「ゲーン」は古語「げに(まことに、なるほどその通り)」からきたものである。高知県では肯定的に使われるらしいが、小川町とその周辺の地域では否定的に使われることが多いようである。人の話を遮るような時に良くこの「ゲーン・ゲン」が使われる。

61. いや(否定問いかけに対する応答)「今日、そちらでは雨は降らなかったか。」と聞かれた時 ① 降った場合「ウンネ コッチワ フッタバイ」 / ② 降らなかった場合「ウン コッチワ フラングッタバイ」となる。

62. どういたしまして ① イーエイエ / ② ナンノナンノ / ③ ナンノアータ (老・女・希) ④ ドーイタシマシテ アータ (老・中・希・高)

*③は(年寄りの女性が主に使う言葉)という教示者からの説明があった。

(V). 不可能の表現

63. 私はできない ① ソギャンコツワ ワタシャ デケン (可能の場合-ソククリヤンコツナラ ワタシテチャ デクル) (老・中・青・女・頻) / ② シキラン (可能の場合-シキル) / ③ シワエン (可能の場合 シワユル) / ④ ソギャンコツバ ワタシガ シキルバシスルゴテ / ⑤ シキランケン (少・頻)

*③の「シワエン」は天草出身の人の言葉だと教示者の説明があったが、天草に限らず、芦北や田浦でも使っている。調査すればもっと広い分布があるのかも知れない。

*④の「シキルバシスルゴテ」の「バシ」は反語法で、「することが出来ようか。いや出来やしない」という意味。中世以来の強調助辞が残ったもの。

64. 読むことができない(状況) ① クロシテ シンプンナ ヨマレン (可能の場合 ヨマルル) / ② ヨメン (可能の場合 ヨムル) / ③ コンクラスミ ヨマレン / ④ チン ヨマルルカイ クロシテ ヨマレヤセン

65. まだ小学生だから、新聞を読むことができない(能力) ① マーダ ショウガクセイダケン シンプンナ ヨミキラン (可能の場合 ヨミキル) (老・中・青・少・頻) / ② ヨミヤエン (可能の場合 ヨミユル) / ③ マーダ ガキ ダケン シンプンナ ヨミキラントジャー (少・希・低)

*②は(天草出身の方の言葉)だと言う教示者からの説明があったが、天草だけでなくこれは芦北郡や水俣までつながる分布を持つものようである。

*③は高校生の言葉である。

*「シンプンナ」の「ナ」は熊本県ではまだまだ全世代で優勢のナ行連声で「は」が音変化したもの。他にも沢山の連声の例がある。「本ナ買うたね・お母さんナいくつね・ボタンナ付けたね・銭ナあるね・うこんナどぎゃん花ん咲くとね・いん(犬)ナどこに繫いだな・布団ナ干したな・ザボンナおいしかね・娘さんナ行きなはったな・こぎゃんナ要らんよ・損ナ見越しとっとたい・こん吸もんナちったうさぶかね・水羊羹ナ悪なるけん冷蔵庫に入れときなはる」などのように使っている。

66. こんなはでな服を着ては、町へ出られない (心理的状況) ①コギャン ハデカ
フクバキチャ ハズカ シューシテ マチニャ デワキ ラン (老・中・青・頻) / ②
デラレン (老・中・青・少・頻) / ③デキラン (青・少・頻) / ④イカレン (少)
67. この茸は食べられない ① コンナバワ クヤデケン (老・中・頻) / ②クワレン
(老・中・青・少・頻) / ③クヤナラン (老・希) / ④クワレント ジャー (少・頻
低・新)

* 可能の場合は「クワルル・タベラルル・クワルットジャー」となる。

*④の「～ジャー」は小川町に限らず使っているようである。最近の若者語の特徴で「～ではないの?・～じゃないの?」の省略語形のようなものである。

68. 忙しくて昼飯も食べることができない ①イソガ シューシテ ヒルメシモ クイ
ダサン / ②イソガ シューシテ ヒアガリモ シダサン (老・中・希) / ③イソガ シ
ューシテ ヒルゴハンモ クワレン ケーン (少・頻・低)

*③は高校生の言葉である。

(VI)、反語・反発の強調表現

69. そんなこと、おれが知るもんか ①ソギャン コツバ オルガ シッタ コツカ (老
・中・青・頻) / ②オガ シッタカ ソギャン コツバ / ③ シルモンカイ / ④オーガ
シッタ コッジャナカ (中・青・頻) / ⑤シッタ コッジャニャーケン (少・頻)
- *⑤は高校生の言葉である。
70. そんな所へ誰が行くものか ①ソギャン トコレ ダーガ イクカイ (老・中・青
・頻) / ②イクモンカイ / ③ダー ガイイクカイ ソギャン トコレ (老・中・青・頻)
71. そんな所へなんで行くか (行くものか) ①ソギャン トコレ ナンシ テイクカ (老
・中・頻) / ②ソギャン トコレ ナンシ テイクカイ (老・中・頻) / ③ソギャン トコレ
ドシ イクカイ イコゴチャ ナクバン (老・中・希) ④ソガ ントコレ イクモ
ン ジャニャーケン (少・頻・低)
72. なんで恥ずかしいものか (なんで恥ずかしからるか) ①ナン デハズカシ カローク (老
・中・希) / ②ナン シテハズカシ カロカイ (青・少・頻) / ③ドシ ハズカシカ
ロカイ (老・希)
73. 行かないでおるものか (行くとも!) ①イカ デンオッカ / ②イカ ン ジャ オルカ

イ／③イカ^ンデオリキルカイ／④イクテキマ^ツットタ〈中・青・少・頻〉／⑤イガ^カジャコテ〈老・希〉

*⑤の「～コテ」は九州方言の一つ。反語式強調表現である。

74. それがお前にやれるか ①ソルガ ヌシ デ^クルカイ〈老・中・青・頻〉／②シキ^ランドモン〈老・中・青・少・頻〉／③ソルバ ヌシガ シ^キルカイ〈老・中・青・頻〉／④デ^クルモンカイ〈老・中・青・頻〉／⑤ヌシガ シ^キリバシスルゴテ〈老・中・青・少・頻〉

75. そんなにいやならシ^テイラン ①ソ^ギヤン イヤナラ モー^タノマン／②タ^ノマンバイ／③ダ^ルガタノムカ

*「シテイラン」とは使わない。

(Ⅶ)・特定の副詞の関わる否定表現(付、否定形式の見られる特定副詞)

76. 暑くて仕事^が少しもはか^どらない(少しも～ない) ①ヌ^クーシテ シ^ゴツノイ^ッチョン サバ^ケン〈老・中・青・頻〉／②チ^ツト^ン ハカ^ンイカ^ン〈老・中〉／③ユ^ート サバ^ケン〈老・中・頻〉

77. 仕事^がぜんぜん^できていない(ぜんぜん～ない) ①シ^ゴツノイ^ッチョン デ^ケトラン〈老・中・青・頻〉／②イ^ッコー サバ^ケトラン〈老・中・希〉

*②の方が「年寄りの言葉。」と教示者の方から説明があった。

78. 雨^がい^っこうに降^らない(い^っこうに～ない) ①ア^メン イ^ッコーニ(イ^ッコ)フ^ラン〈老・中・青・頻〉／②ア^メン イ^ッチョン フ^ラン〈老・中・青・少・頻〉／③ア^メン ユ^ート フ^ラン〈老・中・青・頻〉

79. 今年も雨^があ^まり降^らない(あ^まり～ない) ①コ^トシモ ア^メノ ア^ンマ^ッフ^ラン〈老・中・青・少・頻〉／②コ^トシモ ア^メン シ^ンカ^リヤフ^ラン〈老・希〉

*阿蘇の一部を除いて熊本県一般では「ノ主語法」で「雨が」とはならず「雨の」となる。さらに「ノ」は「ン」となる。「お茶が入ったよ」は「お茶^ン入ったよ」、「雨が降り出した」は「雨^ン降り出した」となる。

80. 芋^が予^想外^にに^にたく^さんとれた ①(カ^ライモ^ン) カ^ンガ^エラ^レン^ゴツ ソ^ーニ^ャ デ^ケタ／②ト^ツケ^ムニ^ャーシ^コ デ^ケタ／③オ^モイ^モカ^ケン^シコ タイ^ギャ デ^ケタ／④エ^スカ^シコ ト^レタ／⑤ナ^ンサ^マ ト^レタ／⑥オ^モワ^ンシ^コ ト^レタ／⑦グ^ッサ^ッ(グ^ッサ^リ) ト^レタ／⑧ヨ^ンニ^ュ ト^レタ／⑨ヨ^ーケ^イ ト^レタ／⑩ホ^イッ^ピャー ト^レタ／⑪ウ^シタル^シコ ト^レタ／⑫ア^バカ^ンシ^コ ト^レタ／⑬シ^コタ^マ ト^レタ／⑭ゴ^ッ ト^レタ／⑮ガ^ッ ト^レタ／⑯タイ^ニャ ト^レタ

*⑭⑮⑯は高校生・若年層の言葉である。小川中学校で使っていたと言う。

*「芋^が今年^は沢^山とれる^だろう」と言う場合は「イ^モノ コ^トシャ ヨ^ンニ^ュ ト^ルッ^ヅ」となる。助動詞レル・ラレル・セル・サセルはルル・ラルル・スル・サスルがまだまだ優勢である。④の「エスカシコ」の「エスカ」は「エズイ(恐い)」

のカ語尾化したものであろう。「オモワンシコ」・「エスカシコ」・「ウスタルシコ（打ち磨るだけといった意味）」の「シコ」は物の量を表す接辞。どれだけの意味の「ドレシコ」・「ドシコ」・「ドガシコ」や「コシコ（これだけ）」・「ソシコ（それだけ）」・「アシコ（あれだけ）」などのように使っている。

(Ⅷ). その他否定形式の関わる諸表現

- 8 1. わざわざ行かなくてもいいではないか ①ワザワザイ^カンチャ ヨカジャナ^カッカイ^カ（老・中・青・頻）／②ワザワザイ^カンチャ ヨカ^カヨー（青・少・女・頻）／③ワザワザイ^カンデモ ヨカジャナ^カカナ（老・女・希）

*③の「～カナ」は「～カイ」よりも優しい感じの呼掛けの終助詞。主に年寄り、それも女性が使う言葉のようである。②は高校生の言葉も含む。

- 8 2. わざわざ行かなくてもいいのではないか ①ワザワザイ^カンチャ ヨカ^カジャナ^カッカイ^カ（老・中・青・頻）／②ワザワザイ^カンデモ ヨカ^カジャナ^カカ^カカイ^カ（老・中・青・頻）／③ワザワザイ^カンデモ ヨカ^カジャ^カ（青・少・希）

- 8 3. わざわざ行かなくてもいいかもしれない ①ワザワザイ^カンチャ ヨカ^カカ^カモ^カワ^カラン^カ（老・中・青・頻）／②ワザワザイ^カンチャ ヨカ^カカ^カモ^カシ^カレン^カ（老・中・青・頻）／③ワザワザイ^カンデモ ヨカ^カカ^カモ^カシ^カレン^カ（青・少・頻）

- 8 4. いっしょに行かないか ①ツ^カン^カノー^カデ イ^カン^カカ^カ（老・中・頻）／②ツ^カレ^カノー^カデ イ^カン^カナ^カ（老・中・希）／③チ^カノー^カデ イ^カン^カネ^カ（老・中・女・希）／④チ^カノ^カデ イ^カン^カカ^カイ^カタ^カ（老・女・高）／⑤ツ^カン^カノー^カデ イ^カコ^カヤ^カ（老・中・希）

*⑤の標準語訳は「一緒に行こうよ。」の意味の方が強いと思う。

- 8 5. これを持ってくれないか ①コ^カル^カバ モ^カッ^カテ ク^カレ^カン^カカ^カイ／②コ^カレ^カバ モ^カッ^カテ ク^カレ^カン^カナ／③コ^カレ^カバ モ^カッ^カテ ク^カレ^カン^カネ／④モ^カッ^カテ ク^カレ^カン^カ（少・頻）

- 8 6. これを持ってくれませんか ①コ^カレ^カバ モ^カッ^カテ ク^カダ^カハ^カラン^カデ^カスカ^カ（老・中・青・頻・高）／②コ^カル^カバ モ^カッ^カテ ク^カレ^カン^カデ^カスカ／④コ^カル^カバ モ^カッ^カテ ク^カレ^カン^カカ^カイ^カタ／⑤コ^カレ^カバ モ^カッ^カテ モ^カラ^カエン^カデ^カスカ

*「クレンカイタ」は「クレナイカ アンタ」の縮約形かと思う。であれば同年齢以上への呼掛けの言葉になり、「クレンカイ」より丁寧な言葉となる。

- 8 7. これを持って下さいませんか ①コ^カレ^カバ モ^カッ^カテ ク^カダ^カハ^カリ^カマ^カセン^カカ／②コ^カレ^カバ モ^カッ^カテ ク^カダ^カハ^カラン^カデ^カスカ／③コ^カレ^カオ モ^カッ^カテ イ^カタ^カダ^カカ^カレ^カン^カデ^カスカ（老・中・青・頻）／④コ^カレ^カバモ^カッ^カテ ク^カダ^カハ^カル^カマ^カッセン^カカ（老・中・頻）

*④は中年層以上でかなり優勢な言葉。「行きなはりませんか」などと使っている。

- 8 8. 早く行かないと（～行けば）（勧奨） ①ソ^カロ^カソ^カロ イ^カン^カチャ^カヨ^カカ^カネ^カ（中・青）／②ソ^カロ^カソ^カロ イ^カン^カネ^カ（中・青・少・女）／③ソ^カロ^カソ^カロ イ^カン^カナ^カ（中・青・少・）／④ハ^カヨ イ^カニ^カャー（イ^カニ^カン^カバイ）／⑤ハ^カヨ イ^カン^カバ／⑥ハ^カヨ イ^カン^カカ^カイ^カ（イ^カン^カカ^カイ^カタ）／⑦ハ^カヨ イ^カン^カヤ^カ（青・男・希）／⑧モ^カー イ^カン^カバ

ン／⑨ハヨ イカナントジャー（少・頻）

*①の「イカニャー」、「イカンバ」は「行かねば」の変化したものだ。他に「せニャー」、「食わニャー」、「歌わニャー」、「入らニャー」などと使っている。

*④⑤⑥⑦⑧の順に命令調が強くなる。⑧の「～イカンバン（～行かねばならない）」は義務を表す助詞。⑤の「イカンバ（行かねば）」より、かなり語調が強くなる。

Ⅲ. まとめ

1. (Ⅰ)、動作・作用の否定表現

22、の「どうしても行かねばならない」では「～イカニャン（北部・東部方言系）」と「～イカンバン（南部方言系）」が混在しているが、これは小川町が丁度その言語使用の境界線付近である為ではなかろうか。又、88、の「～イカナン」は若年層の言葉であるが、これは「～イカニャン」の変化したもので、他に「せナン・食べナン・送らナン・帰らナン・歌わナン・入らナン・寝らナン」というふうに使っている。

2. (Ⅱ)、存在・状態・判断の否定表現

26、の「コシコシカ ナクバン」は、小川地域や八代周辺から芦北郡や水俣までつながる分布を持つ言葉のようである。宇土半島では「～ナカバイ」が優勢のようだ。

3. (Ⅲ)、特定の慣用句による否定（不可・禁止）表現

45、の「ワカラン・ワカラソ」や「アカラン・アカラソ」などは、前述の禁止句の中でも、直接的でなく優しい語感を持つもので、小川町に限らず熊本県では子供を叱る時など「ソギャンコッジャ ワカラソ」などのように良く使われている。

4. (Ⅳ)、反語・反発の強調表現

74、の「シキリバシスルゴテ」の「～バシ～」は反語法で、「することが出来ようか。いや出来やしない」という意味。中世以来の強調助辞が残ったもの。

5. (Ⅴ)、特定の副詞の関わる否定表現

80、の「エスカシコ」の「エスカ」は「エズイ（恐ろしいと言う意味）」のカ語尾化したものだろう。「思ワンシコ・ウスタルシコ（打ち廃るだけといった意味）」の「～シコ」は物の量を表す接辞。他に「シコタマ・アバカンシコ（とても沢山）」や他地域の高校生の言葉「マウゴツ トレタ・スタン トレタ」などもある。「ドレシコ・ドシコ・ドガシコ（どれだけ）」や「コシコ・コレシコ・コガシコ・コギヤシコ（これだけ）」、「ソシコ・ソレシコ・ソガシコ・ソギヤシコ（それだけ）」、「アシコ・アレシコ・アガシコ・アギヤシコ（あれだけ）」などのように使われている。

6. (Ⅵ)、その他の否定形式の関わる諸表現

86、の「モッテ クダハリマッセンカ」の「マッセン」は熊本県では中年以上でかなり優勢な言葉である。他にも「済んマッセン・行きマッセン・遣りマッセン・飲んマッセン・でけ（出来）マッセン」などのように使われている。

（いちもりあやこ 熊本県立松橋高校勤務）